

寺尾・五谷

五谷（ごろたん）

県道346号線山田湯谷線を寺尾温泉から夢の平スキー場へ向かうと、伏木谷泥岩層の露頭を観察することができます。鎧壁～名ヶ原（みょうがはら）～隠尾（かくりょう）そして五谷と順に見学していくことで、ずっと続く泥岩層の広がりを感じることができます。

土砂採取場では、水平に連なる層が大露頭を形成し、泥岩とやや粗い粒のシルト質砂岩とが互層をなしています。泥岩層とシルト質砂岩の層理面からは地下水が湧出し、地中にしみこんだ雨水などが粘土の層（不透水層）に遮られて地下水として地中を移動している様子を実際に目の当たりにできます。このようにして地中を移動する地下水は、庄川流域の中田地区で自噴しています。



五谷の露頭は三方切端となっており、この露頭だけでも十分に地層の広がりを感じることができるでしょう。



五谷の採土場



原谷川の滝に見られる泥岩

散居村展望台付近

ここでは、泥岩層の中に風化によってできた玉葱（たまねぎ）状風化が見られます。泥岩が風化を受ける際、ほとんどは名ヶ原の化石包含層のように細かな筋が入って崩れていくのですが、条件によっては玉葱のように表面から少しずつ同心円状に風化を受ける場合があります。

また、散居村展望台からは、金屋付近を扇頂とする庄川の扇状地を観察することができます。



原谷川の大露頭

夢の平スキー場から県道346号線山田湯谷線を下ってくると、原谷川沿いに高さ40m幅200m程の大露頭が見えてきます。上部は泥岩とやや粗い粒のシルト質砂岩が互層を、下部は鎧壁と同じように凝灰質砂岩と泥岩が互層をなしています。



原谷川の大露頭



露頭の拡大